

サルビアの育て方（一鉢づくり）

○サルビアの特徴

夏から秋にかけて花が咲きます。草丈は20 cm～40 cmくらいに成長し、花色は赤色や青色のほか白色など様々な色があります。

（配付：サルビア・スプレデス(赤) 品種：ボンファイヤー）

○用土について

水はけの良い有機質に富んだ用土で、鹿沼土（赤玉土でも可）6：腐葉土4の割合で混ぜた用土を使用します。市販の草花用培養土でもよく育ちますが、よく発酵した堆肥でないと成長が阻害されますので、安価な培養土は注意が必要です。

○鉢への植え付けについて

苗の大きさに合った鉢で育てるのがよいです。成長に合わせて大きめの鉢に植え替えます。秋までに2～3回植え替えるのが良いです。苗を植える際は、深植えにならないよう気を付けます。雨による土の跳ね返りや乾燥防止を防ぐため、敷き藁などのマルチングをすると良いです。

○水やりについて

極端に乾かすと花や咲く前のつぼみがポロポロ落ちたり、下の方の葉っぱが落ちてしまうこともあります。極端な乾燥に気を付け、土の表面が乾いていたらたっぷりと水を与えます。乾燥に弱いといってもあまり水をやりすぎると土がじめじめと湿っているような多湿状態になり、根が腐ってしまいますので気を付けましょう。

○肥料について

サルビアは肥料切れすると、株が張らず、花つきも悪くなります。緩効性化成肥料や乾燥牛糞などを元肥として十分すき込む他、真夏以外の育成期間中、10日に1回程度、液体肥料を施します。

○摘心【植物などで、生育中の茎または枝の先端の生長点を摘み取ること】について

葉っぱが6～8枚になったら、つぼみの一段下の葉をつけて切ります。摘心を行わないと株が広がらないので、花を楽しむ時期までは、こま目に摘み取ってください。

○管理の仕方について

一度に大量の肥料を与えず、適度に水と肥料を与えます。水やりは土が乾いたらたっぷりと与えますが、与えすぎは根腐れをまねき枯れることがあるので注意が必要です。定期的に鉢を回転させるとバランスの良い株になります。（例：1週間で90°）

○花がらつみについて

株を充実させるまでは、開花する前に花芽を摘み取ります。花を摘み取ってから20～25日前後（9月～10月）で新しい花が咲きます。開花後、花の赤色が色あせたものを花茎の元から摘み取ります。

花を楽しむ時の花柄摘み（株を充実させる時期は、咲く前に摘心します）

